



▼ 11月6日  
心も体もリフレッシュ



「第28回愛媛県レクリエーション大会」は松前公園で開催され、子どもからお年寄りまでが遊びに熱中しました。会場では、輪投げやネイチャークラフトなど約20種目が体験でき、大学生らがボランティアスタッフとしてゲームの進行を行いました。長尾郁和くん(小5)と佑輝くん(小3)兄弟は、けん玉目当てに参加。「教えてもらって技ができるようになった」と、そろって喜びの表情を浮かべていました。

▼ 10月29日・30日  
子どもたちが文化祭の売上金を寄付



まさきこボランティアセンターの子どもたち13人は、まさき文化祭でひまわり油を使ったフライドポテトを販売し、売上の全額25,145円を「こどもの絆プロジェクト」に寄付しました。プロジェクトは、福島第1原発事故に遭った福島の小中学生を愛媛に招待して自然の中で遊んでもらうためのもので、12月25日から1月6日まで今治市や大洲市などの公共施設に宿泊し、地元住民らとの交流や体験学習を行う予定です。

▼ 10月27日  
「おかわり」が止まらない



青葉幼稚園の園児と徳丸農業区の皆さんは、自分たちが育てたお米を食べる「おにぎり大会」を楽しみました。泥だらけになりながら植えたこと、何度も田を訪れ成長を見守ったこと、一生懸命刈り取ったこと。そうした努力が実ったお米の味は、やはり格別。子どもたちは「おかわり」と元気な声を響かせながら、次から次へとおにぎりを食べていました。

▼ 10月9日  
柔道の技と心を競って



「松前柔道会15周年記念少年大会」は愛媛県武道館で行われ、四国内から集まった少年少女の柔道家が熱戦を繰り広げました。大会は、「礼儀正しく、元気よく、力の限り」を合言葉に、池内大貴くん(小6)の選手宣誓でスタート。幼児から小学6年生まで約220人が、日ごろの練習で鍛えた気力と体力の全てを出し合い「一本」をとる柔道を目指しました。幼児の部では松前柔道会の千崎柚希くんが見事優勝しました。

▼ 11月9日  
北中生が幼児とふれあい



北伊予中学校の3年生は、家庭科の授業で保育所訪問を行いました。これは、園児と楽しくふれあい、遊ぶことで、幼児への理解と関心を高めるためのもの。小富士保育所を訪問した14人の生徒らは、この日のために作ったおもちゃを使って遊んだり、外で体を使って遊んだりしながら、幼児とのふれあいの楽しさや喜びを味わっていました。

▼ 11月3日  
美しい歌声を響かせて



10月1日から12月31日まで開かれている県民総合文化祭。このうち、「合唱公演」は松前総合文化センターで開催され、一般や少年少女など県内の合唱団13団体が、美しい歌声を披露しました。フィナーレでは、名曲「ふるさと」を会場全体で合唱。会場は、出演者と来場者の温かい歌声に包まれました。

▼ 10月29日  
福祉ふれあいフェア



松前町福祉ふれあいフェアは、総合福祉センターで開催されました。まさき文化祭に合わせて開催されたこのフェアには、大勢の家族連れらが参加。車いすや絵手紙を体験できるサロン・ボランティアコーナーをはじめ、健康コーナー、交通安全コーナーなど、会場には多くの展示・体験コーナーが設けられ、来場者はさまざまな体験を通してフェアを満喫していました。

▼ 10月20日  
いも掘りの後は綱引きだ



黒田保育所の園児たちと老人クラブの皆さんは、毎年恒例のいも掘りをしました。園児の顔が隠れるくらい大きく育ったおいも。園児らは「大きい!」「こっちの方が大きい!」と大きなおいもを見つけては、お友達と一緒に喜んでいました。収穫後は、いもづるのつるを使って綱引きを行いました。園児とおじいちゃんおばあちゃん、対決を楽しみました。